

2014 REPORT

千葉興業銀行レポート

ミニ・ディスクロージャー誌

第92期 営業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日

目次

ごあいさつ・企業理念	2
経営方針	3
営業の概況	4
地域コーナー	
・お取引の状況	9
・CSRの取組み	11
トピックス	17
財務諸表	19
役員・株式の状況	21

当行の概要 (平成26年3月31日現在)

設 立：昭和27年1月
本 店：千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金：579億4,189万3,949円
従業員数：1,247名



[ちば興銀は、
次世代認定マークを取得しています。]

ごあいさつ



平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

平成25年度の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、最近の県内経済について、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減はあるものの、景気回復を重視する各種の政策効果もあり、個人消費などを中心に今後も景気の回復が期待されるところであります。そのような中で当行は、千葉県経済のさらなる力強い回復に向けて、地域金融機関としての責務を果たすべくさまざまな取組みを行ってまいります。

現在当行は、平成25-27年度の中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」に基づく戦略施策を積極的に展開しております。「地域のお客さまのベスト・コンサルタント」となるべく、さらには「選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない絶対的存在感のある銀行」をめざし、当行グループの総力を結集して業務に邁進していく所存です。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年6月

取締役頭取・CEO **青柳俊一**

企業理念

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。



経営方針

経営方針

当行は、平成25年度からの3か年にわたる中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」に基づき、当行の目指すべき姿である「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」の実現に向けた取組みを行っております。

今後も地域・お客さまのお役に立ち、ともに成長を持続していくための強固な経営基盤の構築と『新ちば興銀』の確立を目指し、“コア顧客”を支柱とした「顧客基盤」の再構築をコア戦略として、具体的な戦略・施策に全行一丸となり取組んでまいります。

企業理念 地域とともに お客さまのために 「親切」の心で

選ばれ続け、地域・お客さまになくてはならない 絶対的存在感のある銀行

地域の お客さまの ベスト・コンサルタント

平成25-27年度「変革・成長戦略“2nd Stage”」

“コア顧客を支柱とした顧客基盤の再構築”

効率性・生産性革新

- 営業店BPRによる営業活動の効率性・生産性の向上
- システム化推進による業務改善と省力化推進
- 営業支援システム・ツールの充実
- 行内分散情報の連動・整備と資産化

収益力・収益構造革新

- 顧客ニーズ基点の営業態勢
- 全行連携での充実したコンサルティング機能の発揮
- 法個人一体取引の推進
- 個人営業強化体制の展開
- マーケット・シェアの拡大

組織力・人材革新

- コンサルティング能力の高い人材の育成・養成
- 人材ポートフォリオの再構築
- 人事諸制度・雇用制度見直し
- 「考え行動する」「挑戦する」人材・組織への転換
- 地域活性化・CSRへの取組み

財務基盤の強化 リスク・マネジメント強化

平成23-24年度「ちば興銀“変革・成長”戦略」

顧客ロイヤルティ向上



営業の概況

グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

預金・貸出金の状況 ～預金・貸出金は順調に推移～

当期末の総預金残高は、平成25年3月末比490億円増加の2兆2,155億円となりました。特に従来よりご好評をいただいております「マリーンズ応援団定期」に加え、当期はオフシーズンからマリーンズを盛り上げるべく「開幕ダッシュ応援定期」も初めて発売しました。この結果、個人預金は、平成25年3月末比258億円の増加となりました。

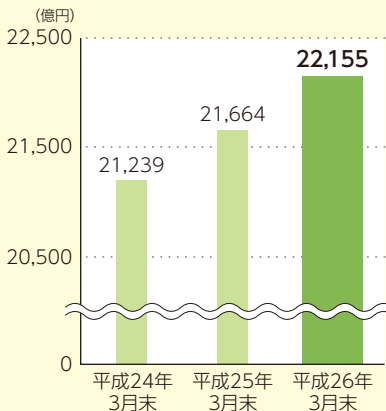
また、お客さまの資産運用ニーズにきめ細かく対応した結果、投資信託の取扱いは増加いたしました。単位型投資信託の償還等の影響もあり、投資信託残高は平成25年3月末比73億円減少し、966億円となりました。一方、年金保険等の残高は、一時払商品（年金保険・終身保険）の販売実績が、順調に推移し、平成25年3月末比125億円増加の1,230億円となりました。

当期末の貸出金残高は、コンサルティング機能の強化に努めるとともに、既存貸出先への資金ニーズ対応や新規貸出先増強等に努めるなど県内資金需要に積極的にお応えした結果、平成25年3月末比657億円増加の1兆7,244億円となりました。

また、住宅ローン・無担保ローンなどの個人ローンを個人取引の基盤拡充の中心として位置付け、「住宅ローン特別金利キャンペーン」を実施する等、販売体制強化による顧客層の拡大に努めたほか、休日相談会開催等によるお客さまの借換えニーズへの積極的な取組みを図ったことにより、住宅ローン残高は、平成25年3月末比361億円増加の5,813億円となりました。

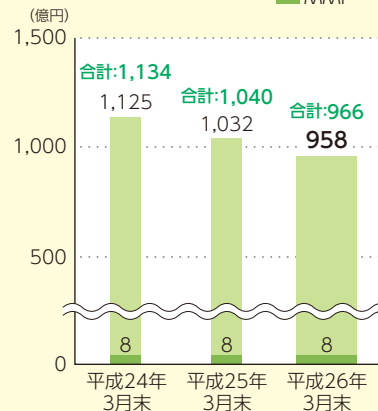
総預金残高

※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

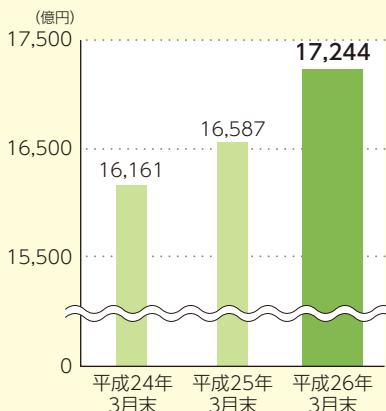


投資信託残高

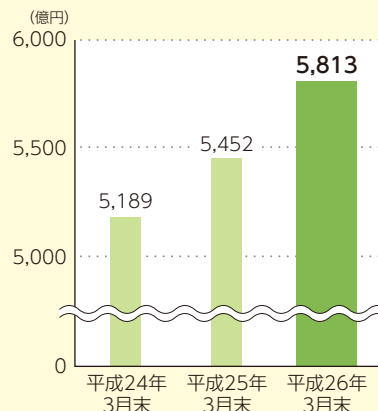
■ 株式投信
■ MMF



総貸出金残高



住宅ローン残高





損益の状況

お客さまの資産運用ニーズへきめ細やかな提案に努めた結果、投資信託や保険商品の販売増加による役務取引等収益が増加いたしました。一方、法人や個人事業主の経営課題解決に向けた情報提供やご提案などコンサルティング活動を積極的に展開した結果、貸出金は順調に増加しましたが、市場金利が低位で推移したことから、資金運用収益は減少しました。また、経費はほぼ前年並みでしたが、国債等債券売却益の減少もあり、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は、前期比15億52百万円減少の120億19百万円となりました。また、コア業務純益^(※)は前期比11億59百万円減少の107億96百万円となりました。

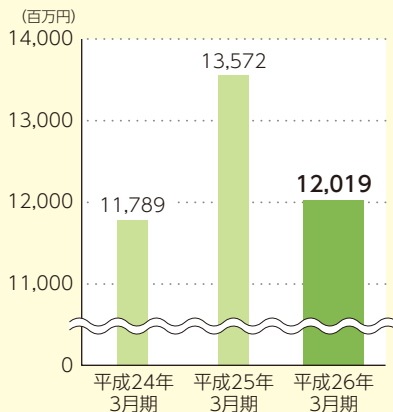
経常利益は、前期に信託受益権償却費13億円の発生があったことなどから、前期比4億50百万円増加し、過去最高の106億28百万円となりました。

なお、税制改正の影響による法人税等の発生から法人税等合計額が前期比7億円増加し、当期純利益は前期比2億11百万円減少の80億53百万円となりました。

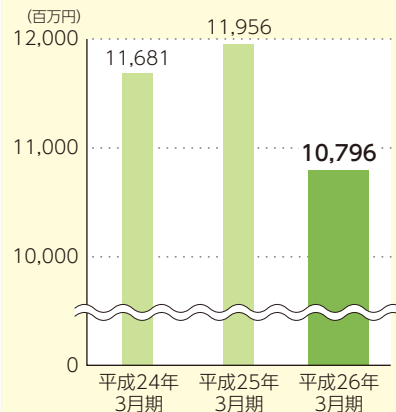
※コア業務純益

業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債権関係損益を除いて算出しております。

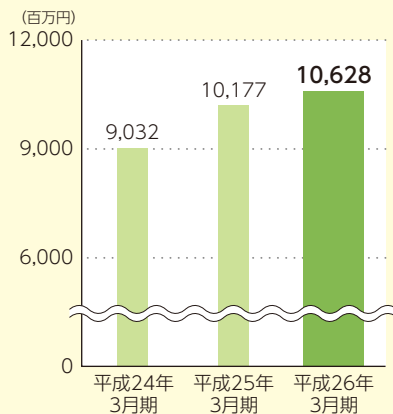
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）



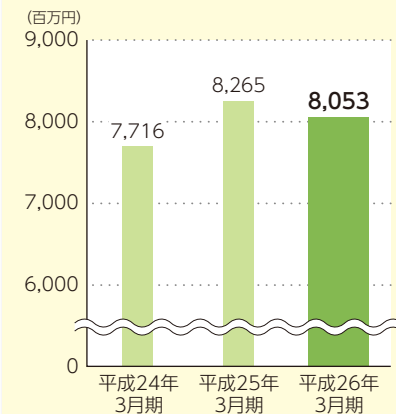
コア業務純益



経常利益



当期純利益



自己資本比率等

平成26年3月末の自己資本比率は、資本準備金の額の減少及び第三回第三種優先株式(公的優先株式)の取得・消却等により、8.60%となりました。なお、平成26年3月末より、国内基準行向けの新しい自己資本比率規制(パーゼルⅢ)が適用されています。

また、経営の効率性を示す経営指標であるコアOHR^(※1)は、コア業務粗利益の減少や経費の増加により2.27ポイント上昇し69.04%となりました。また、収益性の高さを示すROA^(※2)は、コア業務純益が減少し、総資産期中平残(除く支払承諾見返)が増加したことにより、0.05ポイント低下し0.45%となりました。

※1 コアOHR

(経費対コア業務粗利益率=経費÷コア業務粗利益(除く国債等債券関係損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表す指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※2 ROA《コア業務純益ベース》

(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るためにどの程度効率的に利用されているかを表す指標で、値が大きいかほど経営の「収益性」の高さを示しています。

自己資本比率算定明細表

■パーゼルⅢ

(単位:%・百万円)

	平成26年3月末
1.自己資本比率	8.60
2.コア資本に係る基礎項目	123,304
3.コア資本に係る調整項目	102
4.自己資本 2-3	123,202
5.リスクアセット	1,431,632

■ご参考:パーゼルⅡにおける開示内容

	平成25年3月末
1.自己資本比率	12.75
2.基本的項目	166,613
3.補完的項目	7,430
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	-
(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	5,000
4.控除項目	190
5.自己資本 2+3-4	173,853
6.リスクアセット	1,363,446
うちオン・バランス	1,273,890
うちオフ・バランス	21,421
うちオペレーショナルリスク	68,134



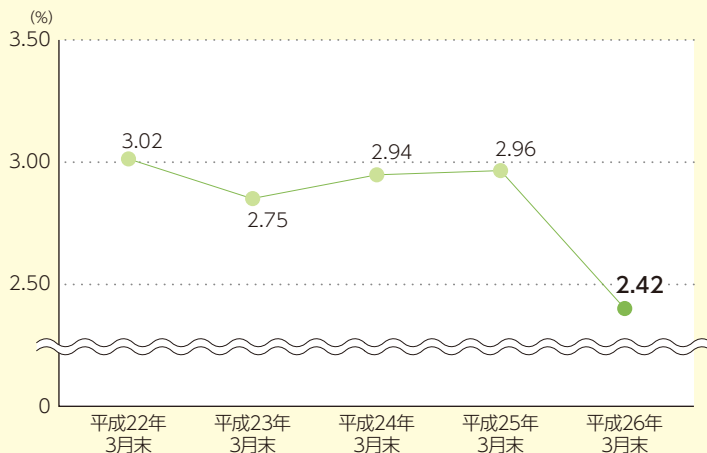
経営改善支援への取組み等

当行は地域金融機関として、従来より、お取引先企業の課題解決に向けた経営改善計画策定支援・経営指導等に積極的に取り組んでおります。国内経済においては明るい兆しが見えてきているものの、お取引先企業の経営環境は引続き厳しい状況にあるとの認識のもと、中小企業金融円滑化法の期限到来後も変わらぬ金融円滑化への取組みとして、特に経営改善計画策定支援とあわせて資金繰り支援についても、本部担当部署および外部コンサルティング会社等を活用したサポート支援を強化しております。

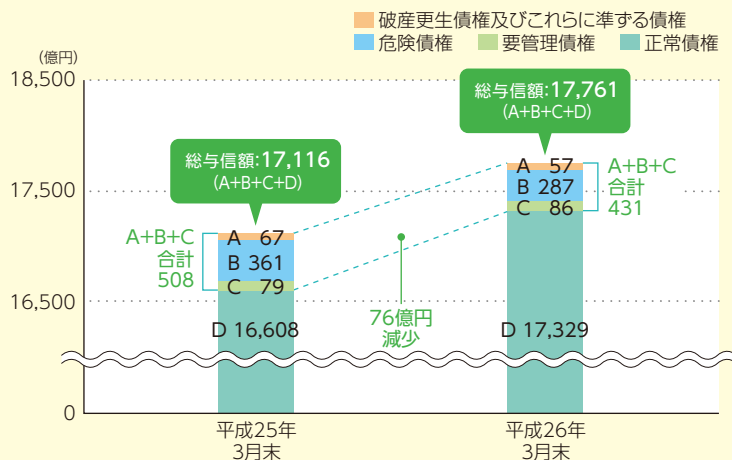
お取引先企業への抜本的な事業再生支援の取組みや不良債権の回収強化に努めた結果、正常債権を除いた金融再生法における「開示債権」の当期末残高は、431億円となり、平成25年3月末比76億円減少いたしました。また、総与信額に占める割合（開示債権比率）は2.42%となり、平成25年3月末比0.54ポイント改善いたしました。

事業再生支援については、抜本的な事業再生計画策定支援が必要なお取引先企業に対し、地域経済への影響・従業員の雇用確保等を念頭に置きつつ、中小企業再生支援協議会を中心に東日本大震災事業者再生支援機構・産業復興相談センター・地域経済活性化支援機構・地域再生ファンド・RCC・外部コンサルティング会社等と連携した再生支援に積極的に取り組んでおります。

金融再生法に基づく開示債権比率



金融再生法に基づく開示債権額比較



格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付^(※1)取得し公表しております。

格付け [BBB+(トリプルBプラス)]^[据え置き]

格付け見通し [安定的]^[据え置き]

(格付けの公表:平成25年8月28日)

※1 長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、1株当たり3円の配当をいたします。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたします。

株主優待制度

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。平成26年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引続きお取扱いいたします。「さわやかハロー24」^(※2)ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※2 「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。



地域コーナー

地域のお客さまとのお取引の状況

当行では預金の大半を地域のお客さまからお預かりしております。

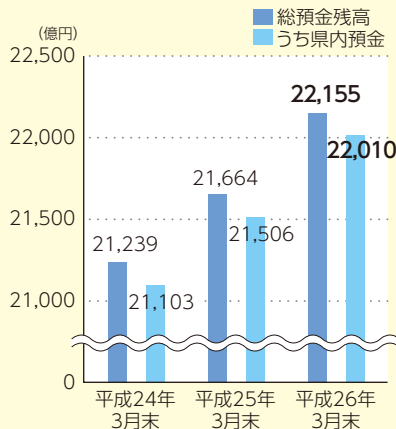
そしてこの大切な預金を県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。

また、平成26年3月末の県内保証協会保証付貸出金は11,235件の1,426億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

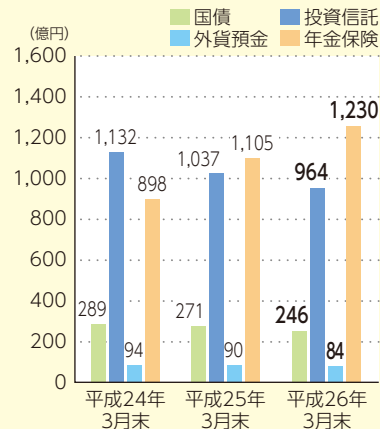
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。

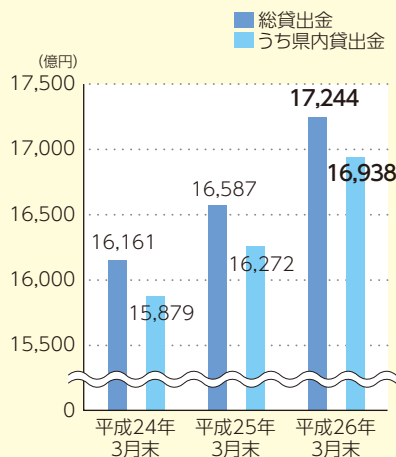


預り資産残高

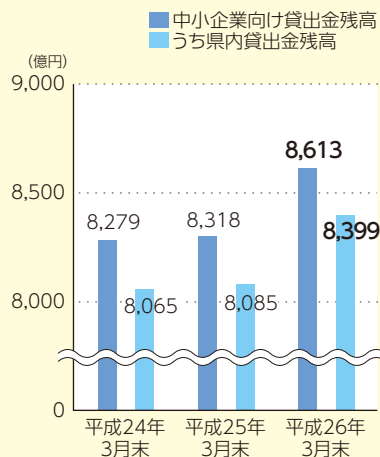
平成26年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



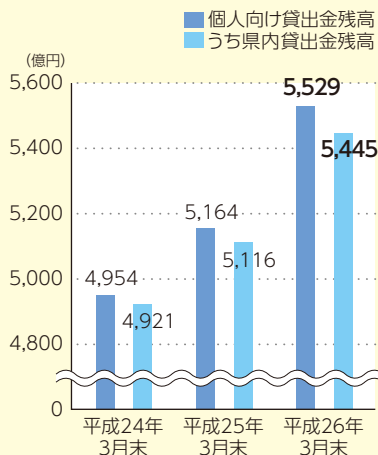
貸出金残高等



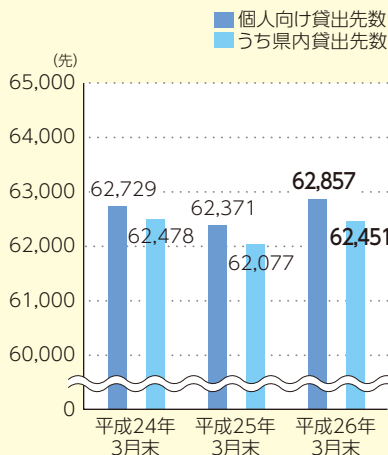
中小企業向け貸出金残高



個人向け貸出金残高等

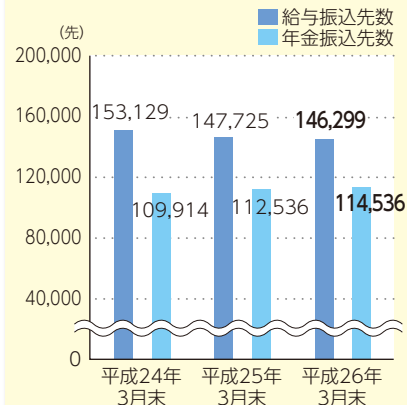


個人向け貸出先数等



給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(億円)

業種	平成26年3月末	
	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,718	1,692
農業、林業	52	52
漁業	2	2
鉱業、採石業、砂利採取業	28	28
建設業	836	834
電気・ガス・熱供給・水道業	68	68
情報通信業	88	87
運輸業、郵便業	680	674
卸売業、小売業	1,697	1,671
金融業、保険業	745	744
不動産業、物品賃貸業	3,765	3,622
各種サービス業	1,764	1,748
地方公共団体	266	266
その他	5,529	5,445
合計	17,244	16,938



地域コーナー

CSRの取組み
～地域社会・地域経済への貢献～

地域活性化に向けた取組み

札幌ドームにて「千葉県物産展」を開催

平成25年8月

札幌ドーム球場で行われた、千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ戦「北海道銀行スペシャルデー」において千葉県の物産販売や観光PRを行いました。

当日は、お取引先企業の協力を得て、落花生や枇杷など、千葉県産の食材を活かした人気商品を北海道の皆さまに紹介いたしました。また、千葉県とも連携し、観光パンフレットの配布や森田健作千葉県知事のビデオメッセージ放映など、来場者の皆さまへ千葉の魅力を直接発信いたしました。



「ちば興銀スペシャルナイト」開催！

平成25年9月

毎年実施しているマッチデーにおいて、お取引先企業の協力を得て、北海道物産の紹介や観光PR等を行いました。

また、ちば興銀ブースにて、観戦チケットや特製のマリーンズコラボレーションタオルなどが当たるガラポン抽選会を先着1,500名さまに行ったほか、ラッキーナンバーチラシの配布や、千葉県のマスコットキャラクター・チーバくんと千葉ロッテマリーンズのキャラクター・マーくんが競演するクイズ大会を実施いたしました。北海道・さっぽろテレビ塔のキャラクター・テレビ父さんが参加したフォトセッションなどさまざまなイベントを開催し、多くの方にお楽しみいただきました。

当行は地元金融機関として、今後も千葉ロッテマリーンズを応援するとともに、千葉県の活性化に寄与するための活動を行ってまいります。



「がんばろう千葉」キャンペーンへの取組み ～「がんばろう千葉応援隊」に参加～

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉」応援隊に賛同し、法人として応援隊に加入しており、千葉県経済の活性化を応援するための活動を行っております。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては、下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>



「がんばろう！千葉 おいしい食べもの直売会『千産千商2013』」開催 平成25年11月

当行が聖徳大学短期大学部と締結している、産学連携協定に基づく活動のひとつであり、同校学園祭にて実施しました。今回で4回目の取組みとなります。

当日は、聖徳短大総合文化学科の学生が考案したアイデアを当行取引先協力のもとに商品化し、聖徳ブランドのプリン・メロンパンとして、本学園祭で販売いたしました。

また、取引先企業が出展し、千葉県の魅力ある商品・食材を多くの方にご紹介しました。



中小企業育成への取組み

「千葉元気印企業大賞」

平成7年度より、フジサンケイビジネスアイ（日本工業新聞社）との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じて、地域企業の発展を支援しております。



次世代経営者育成への取組み

ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催し、これまでに100名を超える塾生に学びの場を提供しております。平成25年5月からは第5期生のプログラムがスタートしております。

最近の活動状況

- 25/10 中期経営計画策定講座<第7講>
- 25/11 スタイルアップレッスンセミナー
- 25/12 中期経営計画策定講座
- 26/01 新春講演会&賀詞交換会
- 26/02 台湾ビジネスセミナー
- 26/03 人事・労務セミナー
- 26/05 台湾ビジネス視察会





次世代育成への取組み

「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催

平成25年12月

高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)千葉県大会を開催しました。クイズを通して、将来必要となる金融知力を伸ばすきっかけとするためのイベントで、金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しております。千葉県内では5回目となり、従来同様、当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)



『チーバくん』を活用した子育て応援事業へ協賛

子育て支援の一環として、「千葉県安心子ども基金」に対し寄付を行いました。当行とメットライフアリコ生命とが共同で行う社会貢献活動であり、半年ごとに両社が、対象商品の販売件数に対して一定金額を寄付してまいります。本取組みは、県内金融機関として初めて「チーバくん」を活用した子育て応援事業への協賛事業として、千葉県からの承認を受けております。※「千葉県安心子ども基金」を通じて、県本庁舎に「赤ちゃん休憩室」が設置されました。



「子育てお母さん応援講座」開催 ～仕事と子育ての両立～

平成26年3月

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業の中の一部講座を当行が担当し、再就職をめざす県内の女性を対象に開催いたしました。「職場見学」や「従業員との懇談」等を通して、職業理解の機会を提供し、仕事と子育ての両立をめざす県内の女性の再就職を応援しております。



夏休み体験「サマーキッズスクール2013」開催

平成25年8月

県内小学5・6年生を対象に毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、7年連続で開催しております。千葉商科大学大学院教授、伊藤宏一先生を講師として、「お金って何?」をテーマに、お金の意味や使い道などについて学習していただくとともに、マリーンズ戦のプログラムを販売する「しごと」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただけます。



文化・スポーツ活動

「コスモスコンサートの開催」

毎年6月、「千葉県民の日」を祝い、地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、そごう千葉駅前JR連結口広場にて県立千葉女子高校オーケストラ部によるミニコンサートを20年連続で開催しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに無料公開講座を毎年開催しております。第16回は「発掘された房総の城跡」をテーマに開催し、74名のお客さまが受講されました。



平成26年3月

各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を24年連続で開催しております。

平成25年9月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家50チーム280名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。





社会奉仕活動

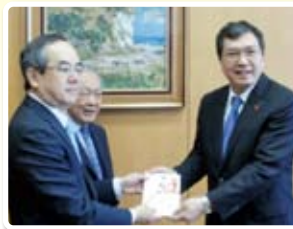
「小さな親切」運動の推進

当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成25年度(4月～3月)において2,564名が受章されました(累計314千人以上)。当行行員は全員会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



「交通安全意識を啓蒙」

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学1年生へ地域ごとにスポークライト(自転車事故防止用反射板)を毎年贈呈しております(19年間で延べ230,900個)。また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



寄付活動の実施

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ毎年寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。



当行役職員による募金活動「ともしびの会」では毎年年末に県内の養護施設等へ浄財を寄付しております(37年間で延べ337施設4,204万円)。

献血活動の実施

「日本赤十字社献血サポーター」登録企業として、毎年春・秋の2回、本店の行員・スタッフが多数献血に協力しております。



環境への取組み

「緑のカーテン運動」の展開

地域の皆さまとともに、環境にやさしい街づくりをめざす「緑のカーテン運動」のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行いました（平成25年度3カ店）。

今後は地域の皆さまと一緒に、運動を展開していく予定です。

※「緑のカーテン運動」：光合成によるCO₂の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化活動です。



環境美化活動の実施

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております（全部室店参加 総数約1,000名）。また、国道14号・357号沿線の12企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。



「法人の森協定」を締結

県有林において、森林の保全・整備、森林環境教育等を通して社会貢献活動を行う「法人の森」事業に参画するため、千葉県と「法人の森協定」を締結し、「ちば興銀の森」活動をスタートしました。

今後、松くい虫等の影響で海岸保安林が壊滅状態にある匝瑳市新堀海岸県有林の再生を目指し、植樹や草刈等による森林整備活動を実施していく予定です。





トピックス

商品・サービスの拡充

首都圏地銀初！

「ちば興銀宝くじサービス」数字選択式宝くじ「ロト7」の販売を開始 平成25年5月

平成14年8月よりお取扱いしている、ATMで「数字選択式宝くじ」が購入できる「ちば興銀宝くじサービス」において、首都圏の地方銀行で初めて、数字選択式宝くじ「ロト7」の販売を開始いたしました。当行本支店および店舗外キャッシュコーナーのATM^(※1)にてご利用ください。

(※1) 当行の普通預金、総合口座、貯蓄預金のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまがご利用いただけます。なお、一部お取扱いできない店舗外キャッシュコーナーがございます。



相続手続を専門の担当者がお客さまに直接ご説明！「相続遠隔手続サービス」を開始 平成26年1月

相続手続のために営業店へご来店されたお客さまと本部の相続事務担当者が、「テレビ会議システム」を通じて直接会話することにより、相続手続をご説明するサービスを開始しております。

相続事務を専門に行う部署で豊富な経験を持つ担当者が、相続の事務手続きについてお客さまに直接わかりやすくご説明いたします。

※本サービスは平成26年3月末現在20カ店で取扱いしており、今後取扱店を拡大していく予定です。



「マリーンズ開幕ダッシュ応援定期」(平成25年12月)
「マリーンズ応援団定期2014」(平成26年4月)発売！

当行は、地元金融機関として、千葉ロッテマリーンズを応援しております。当期はオフシーズンからマリーンズを盛り上げるべく、平成25年12月から平成26年2月まで「開幕ダッシュ応援定期」を初めて発売しました。また、毎年期間限定で取扱っている恒例の定期預金「マリーンズ応援団定期」の取扱いも開始しており(平成26年8月29日まで)、地元球団である千葉ロッテマリーンズを応援する多くのお客さまに大変ご好評をいただいております。

当行は地元球団である千葉ロッテマリーンズを、年間を通して地域のお客さまとともに応援してまいります。

※詳細については「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



中堅・中小企業の海外進出サポートを強化！

国際協力銀行の地銀連携に参加し、フィリピン大手商業銀行のBDOユニバンク、ベトナム大手商業銀行のベトコムバンク、インド国内最大の国営商業銀行であるインドステイト銀行とそれぞれ業務提携を開始しております。本提携により当該国へ進出済または進出を検討されているお客さまに対し、様々な金融サービスの提供が可能となります。

当該銀行を通じた
主なサービス内容

- 経済・投資環境情報の提供
- 現地投資環境セミナー
- 現地銀行の口座開設や個別相談 など

また、当行と提携銀行の個別契約を前提とした、当行スタンド・バイ・クレジット^(※)の供与に基づく提携銀行からの現地融資も実現しております。

(※)スタンド・バイ・クレジット:日本企業の海外支店などが外国の現地銀行から融資を受けようとする場合に、債務保証として日本の取引銀行が発行する信用状のことです。



エコ(eco)でやさしい店づくり

新築店舗について、3つのコンセプト(「お客さまにやさしい」・「地域にやさしい」・「環境にやさしい」)に基づき、「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマとした、これまで以上にご利用いただきやすい店舗づくりを進めております。

茂原支店・新築移転開店

平成25年8月

店舗の老朽化に伴い、茂原駅南口の幹線道路沿いに移転開店しました。730坪の敷地に41台の駐車場を整備しております。

風力と太陽光の2つのクリーンエネルギーを利用したハイブリット街路灯を設置するとともに、店舗デザインを考慮し、ガラスカーテンウォールの開放感を損なうことなく発電可能な太陽光発電システム(発電量3.11kW)を導入しております。また、エントランス等内装建材に国内初の『調湿建材』として登録認定されている壁材等を導入したほか、空調設備にGHP(ガスエンジンヒートポンプ)を採用し、千葉県産の天然ガスを使用する「千産千消」の取組みも行っております。当行は、今後も効果的なネットワークの構築をめざし、新店舗や店舗リニューアルの検討を進めてまいります。





財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第92期末(平成26年3月31日現在)貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	78,143	預金	2,206,969
現金	23,567	当座預金	49,662
預け金	54,576	普通預金	1,100,644
コールローン	5,000	貯蓄預金	27,881
買入金銭債権	1,327	通知預金	5,200
商品有価証券	110	定期預金	1,008,956
商品国債	12	定期積金	6
商品地方債	97	その他の預金	14,617
有価証券	521,311	譲渡性預金	8,540
国債	168,968	借用金	7,881
地方債	54,275	借入金	7,881
社債	195,125	外国為替	34
株式	27,403	外国他店預り	16
その他の証券	75,539	売渡外国為替	18
貸出金	1,724,489	その他の負債	14,935
割引手形	7,611	未払法人税等	183
手形貸付	68,490	未払費用	1,913
証書貸付	1,485,733	前受収益	1,206
当座貸越	162,653	給付補填備金	0
外国為替	2,823	金融派生商品	642
外国他店預け	1,343	金融商品等受入担保金	34
買入外国為替	1,134	リース債務	1,721
取立外国為替	345	その他の負債	9,233
その他資産	6,854	退職給付引当金	6,581
未収収益	2,000	役員退職慰労引当金	113
先物取引差入証拠金	3	睡眠預金払戻損失引当金	884
金融派生商品	906	支払承諾	14,371
その他の資産	3,943	負債の部合計	2,260,312
有形固定資産	20,155	(純資産の部)	
建物	6,581	資本剰余金	57,941
土地	10,937	資本剰余金	4,566
リース資産	1,721	資本準備金	2,792
その他の有形固定資産	915	その他資本剰余金	1,773
無形固定資産	2,224	利益剰余金	52,128
ソフトウェア	1,839	利益準備金	3,636
その他の無形固定資産	385	その他利益剰余金	48,491
繰延税金資産	15,749	繰越利益剰余金	48,491
支払承諾戻返	14,371	自己株式	△66
貸倒引当金	△10,332	株主資本合計	114,570
資産の部合計	2,382,230	その他有価証券評価差額金	7,347
		評価・換算差額等合計	7,347
		純資産の部合計	121,917
		負債及び純資産の部合計	2,382,230

第92期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	44,278	経常費用	33,649
資金運用収益	30,868	資金調達費用	1,186
貸出金利息	25,373	預金利息	1,080
有価証券利息配当金	5,056	譲渡性預金利息	4
コールローン利息	65	コールマネー利息	0
預け金利息	157	債券貸借取付支払利息	0
その他の受入利息	215	借入金利息	96
役員取引等収益	8,090	その他の支払利息	4
受入為替手数料	1,779	役員取引等費用	3,663
その他の役員収益	6,311	支払為替手数料	356
その他業務収益	2,208	その他の役員費用	3,307
外国為替売買益	566	その他業務費用	218
国債等債券売却益	1,441	商品有価証券売却損	0
金融派生商品収益	200	国債等債券売却損	218
その他の業務収益	0	営業経費	25,130
その他経常収益	3,109	その他経常費用	3,450
償却債権取立益	1,623	貸倒引当金繰入額	1,386
株式等売却益	472	貸出金償却	1,214
その他の経常収益	1,013	株式等売却損	19
		その他の経常費用	829
		経常利益	10,628

第92期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金		利益剰余金	繰越利益剰余金				
当期首残高	57,941	32,792	32,000	64,792	3,291	42,512	45,803	△64	168,473	
当期変動額										
準備金から剰余金への振替		△30,000	30,000	-						
剰余金の配当					345	△2,073	△1,727		△1,727	
当期純利益						8,053	8,053		8,053	
自己株式の取得								△60,228	△60,228	
自己株式の消却								60,226	-	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△60,226	△60,226						
当期変動額合計	-	△30,000	△30,226	△60,226	345	5,979	6,325	△1	△53,903	
当期末残高	57,941	2,792	1,773	4,566	3,636	48,491	52,128	△66	114,570	
		評価・換算差額等								
		その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等	純資産合計						
当期首残高	8,274	8,274	176,747							
当期変動額										
準備金から剰余金への振替										
剰余金の配当			△1,727							
当期純利益			8,053							
自己株式の取得			△60,228							
自己株式の消却			-							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△926	△926	△926						
当期変動額合計	△926	△926	△54,829							
当期末残高	7,347	7,347	121,917							

第92期末(平成26年3月31日現在)連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	78,146	預金	2,199,040
コールローン及び買入手形	5,000	譲渡性預金	8,540
買入金銭債権	1,327	借入金	19,312
商品有価証券	110	外国為替	34
有価証券	521,051	その他負債	20,367
貸出金	1,720,148	退職給付に係る負債	8,672
外国為替	2,823	役員退職慰労引当金	174
その他資産	28,762	睡眠預金払戻損失引当金	884
有形固定資産	20,155	支払承諾	14,374
建物	6,608	負債の部合計	2,271,401
土地	10,937	(純資産の部)	
リース資産	50	資本金	57,941
その他の有形固定資産	2,558	資本剰余金	4,566
無形固定資産	2,763	利益剰余金	55,819
ソフトウェア	2,321	自己株式	△66
リース資産	52	株主資本合計	118,260
その他の無形固定資産	389	その他有価証券評価差額金	7,363
繰延税金資産	16,756	退職給付に係る調整累計額	△1,251
支払承諾見返	14,374	その他の包括利益累計額合計	6,112
貸倒引当金	△13,526	少数株主持分	2,120
資産の部合計	2,397,895	純資産の部合計	126,493
		負債及び純資産の部合計	2,397,895

第92期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	52,555	経常費用	40,691
資金運用収益	30,402	資金調達費用	1,342
貸出金利息	25,399	預金利息	1,078
有価証券利息配当金	4,564	譲渡性預金利息	4
コールローン利息及び買入手形利息	65	コールマネー利息及び売渡手形利息	0
預け金利息	157	債券買借取引支払利息	0
その他の受入利息	215	借入金利息	246
役員退職等収益	8,897	その他の支払利息	11
その他業務収益	2,208	役員取引等費用	2,699
その他経常収益	11,046	その他業務費用	218
償却債権取立益	1,711	営業経費	25,162
その他の経常収益	9,335	その他経常費用	11,268
		貸倒引当金繰入額	977
		その他の経常費用	10,290
		経常利益	11,864
		特別損失	88
		固定資産処分損	31
		減損損失	56
		税金等調整前当期純利益	11,776
		法人税、住民税及び事業税	843
		法人税等調整額	2,059
		法人税等合計	2,903
		少数株主利益調整前当期純利益	8,873
		少数株主利益	317
		当期純利益	8,555

第92期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額			その他の包括利益累計額合計
当期首残高	57,941	64,792	48,991	△64	171,661	8,289	-	8,289	1,790	181,741
当期変動額										
剰余金の配当			△1,727		△1,727					△1,727
当期純利益			8,555		8,555					8,555
自己株式の取得				△60,228	△60,228					△60,228
自己株式の消却		△60,226		60,226	-					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△925	△1,251	△2,177	329	△1,847
当期変動額合計	-	△60,226	6,827	△1	△53,400	△925	△1,251	△2,177	329	△55,247
当期末残高	57,941	4,566	55,819	△66	118,260	7,363	△1,251	6,112	2,120	126,493



役員・株式の状況

役員 (平成26年6月27日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	岡本	繁雄
常勤監査役	田仲	直樹
常勤監査役	稲葉	保実
監査役	原口	秀夫
監査役	鈴木	伸弥

(注) 監査役原口秀夫氏および鈴木伸弥氏は、東京証券取引所
有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成26年3月31日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	296,000千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第四回第四種優先株式	7,500千株	6,400千株

2 株主数

普通株式	11,454名
第一回第一種優先株式	1名
第二回第二種優先株式	1名
第四回第四種優先株式	165名

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
		持株数等 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	18.91
	明治安田生命保険相互会社	1,498	2.95
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,257	2.48
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	株式会社損害保険ジャパン	1,088	2.14
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	975	1.92
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	千葉興業銀行行員持株会	764	1.50
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	665	1.31
京葉瓦斯株式会社	587	1.16	
第一回第一種優先株式	株式会社みずほ銀行	1,250	100.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00
第四回第四種優先株式	沖電気工業株式会社	300	4.68
	大成建設株式会社	300	4.68
	東京建物株式会社	300	4.68
	丸紅株式会社	300	4.68
	キッコーマン株式会社	200	3.12
	明治安田生命保険相互会社	200	3.12
	安田不動産株式会社	200	3.12
	株式会社ヤクルト本社	180	2.81
	株式会社クレックス	160	2.50
芙蓉総合リース株式会社	160	2.50	

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 普通株式の持株比率は自己株式(57,415株)を控除して、算出しております。

株式のご案内

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- **配当受領
株主確定日** 期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
- **定時株主総会** 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- **基準日** 定時株主総会については、毎年3月31日
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- **単元株式数** 100株
- **公告掲載新聞** 東京都において発行する日本経済新聞
なお、決算公告につきましては、
当行ホームページの下記アドレスに
掲載いたします。
[http://www.chibakogyo-bank.co.jp/
toushi/ir/koukoku.html](http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html)
- **株式事務取扱場所**
- **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店 証券代行部

■ 単元未満株式の買取請求について

単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。

特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座株式のご売却について

特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関)

みずほ信託銀行株式会社

■ お問い合わせ先(郵便物送付先)

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324

株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

